

様式 1

教員 EA プロジェクト応募資料

応募区分	教育実践部門																													
所属（学校名）	羽島市立正木小学校																													
氏名	正木小学校幼保小連携チーム																													
取り組んだ課題	幼保小連携による小1プロブレムの解消 2																													
具体的な活動内容	<p>本校では、年間を通じて、園と小学校の接続を円滑に図ることにより、園児が小学校生活に適応できる環境作りを進めた。教職員同士の連携と児童と園児の連携を計画的に図ることで、園と小学校が一体となって子どもを育てる。</p> <p>【 主な年間計画 】</p> <p>4月 小学校生活に慣れるための生活科 5月 幼保小連絡協議会の開催（年2回） 6月 小学校の校長が園を参観 7月 1年生担任が園実習 11月 園児が正木小学校を探検 2月 1年生が園児を招待して学校体験 3月 入学前の情報交換会</p>																													
取り組み成果	<p>・ 6年生が園児の対応をすることで、6年生自身が6年間を振り返り自己の成長を実感する機会となった。</p> <p>・ 園児は1年生の授業を見たり、学校施設を体験したりすることで、より小学校を身近に感じた。また、学習発表会の1年生の姿を見て、学校生活への期待や1年生への憧れの気持ちが膨らんだ。</p> <p>・ 幼保園と小学校の教職員が情報交流の場で、「給食の配膳の様子を参観したい」と申し出があり、参観していただいた。園での給食の実態を踏まえ、段階的な給食配膳の練習など、園での指導の方向性が明らかとなった。</p> <p>・ 園児が本校を探検したり、1年生が園児と生活したりすることで、本校の生活への見通しをもつとともに、入学後も「幼稚園の時に学校に来たよ」、「校長先生、私校長先生のことを覚えているよ」などと話してくれるなど、心理的な負担の軽減に繋がった。その結果、表1の通り、1年生の不登校は1人である。この取組は、小1プロブレムの解消に繋がった。</p> <p>表1 1年生年度別欠席者数 [人] 令和6年度は4月～7月19日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>不登校</th> <th colspan="3">不登校児童の欠席日数</th> <th>人数</th> <th>授業日</th> <th rowspan="4">昨年度の1年生で3名が年間30に以上の欠席をした</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>105</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>3</td> <td>53日</td> <td>40日</td> <td>32日</td> <td>105</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>3</td> <td>19日</td> <td>20日</td> <td>26日</td> <td>126</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table> <p>が、大きく崩れることはなかった。3人は2年生に進級しても元気に登校している。今年度の不登校3名については、保護者と連携して対応しているところである。</p>		不登校	不登校児童の欠席日数			人数	授業日	昨年度の1年生で3名が年間30に以上の欠席をした	令和4年度	0				105	202	令和5年度	3	53日	40日	32日	105	202	令和6年度	3	19日	20日	26日	126	71
	不登校	不登校児童の欠席日数			人数	授業日	昨年度の1年生で3名が年間30に以上の欠席をした																							
令和4年度	0				105	202																								
令和5年度	3	53日	40日	32日	105	202																								
令和6年度	3	19日	20日	26日	126	71																								
今後の活動展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園と小学校の教職員が交流を深め、園児一人ひとりの育ちを共有して、接続に臨む。 ・ 園と小学校が小学校入学までに、つけたい力を明確にする。 ・ 市内で作成されている「架け橋期のカリキュラム」をもとに、園と協力して、正木小版を作成し、実施すること。 																													
校長所見	<p>羽島市教育委員会では、幼保小連携により小1プロブレムの解消に繋げる施策に力を入れている。本校では、年間を通じて組織的かつ計画的に園との連携を図ることにより、園と小学校が一体となった様々な取組を進めている。その成果は、不登校出現の少なさや児童の生き生きとした学校生活に現れている。今後も継続したい取組である。</p>																													

参考資料

1 幼保小連絡協議会



1年生の授業を参観する園関係者



関係者が一堂に会して情報交流

2 園児の小学校探検 6年生が園児を引率して校内探検、6年生と園児が体育館でレク



園児の手を引いて校舎を案内する6年生



園児と手をつないで一緒に遊ぶ6年生

3 1年生が園児に、本校の学校生活を紹介



4 幼保こども園参加者からの意見

- ・園では、自由保育を中心に、個を大切にされた保育をしている。卒園生が小学校で元気に生活をしていて、座って授業を受けるだけでなく、仲間と交流していたことがうれしい。
- ・先生方が丁寧に児童を指導していることが分かった。小学校の授業の様子もよく分かった。
- ・今年の園児も、小学校へ行けると楽しみにしている。ある園児は、「先生、6+3ができるよ」と話してくれた。別の園児は、「小学校まで歩いて行く」と話してくれた。小学校への期待が膨らんでいる。